



Transit Optimal Platform(トップ)



概要

Transit Optimal Platform (TOP/ トップ) は、物流現場をシミュレーション環境上に再現し、業務効率化を行うデジタルツインプラットフォームです。

カスタマイズを前提としており、様々なシチュエーション・ユースケースに対応いたします。

◆ユースケース一例

マテハン機器の運用計画を事前検証するためのシミュレーション環境
稼働状況の可視化・稼働状況に応じた実行指示を送るデジタルツイン環境
運用計画 AI の学習環境

◆シチュエーション一例

倉庫、工場、港湾 等



ユースケース詳細

①シミュレーションとしての活用

下記のパラメーターを変更し、工場・倉庫内におけるマテハン機器の運用計画の最適化・事前検証が可能です。

AGV・フォークリフト・コンベア等搬送設備のスペック・台数・経路
蔵置場所・設備等レイアウト
積み込み・積み下ろしなどの所要時間
工場における生産計画 / 倉庫における物流量

②デジタルツイン環境としての活用

現実世界にて稼働する設備のログをコントローラー / 外部システム等から取得することで、下記のような活用も可能です。

別拠点からの稼働状態監視・VRを用いた工場のバーチャル見学会
現場再現によるボトルネックの可視化
リアルタイムの稼働状況・アクシデントに合わせた運用計画の検証



株式会社 iPX

【Head Office】〒141-0021 東京都品川区上大崎 2-25-2 新目黒東急ビル13F
Tel : 03-6277-2048 Fax : 03-6277-0283

HP



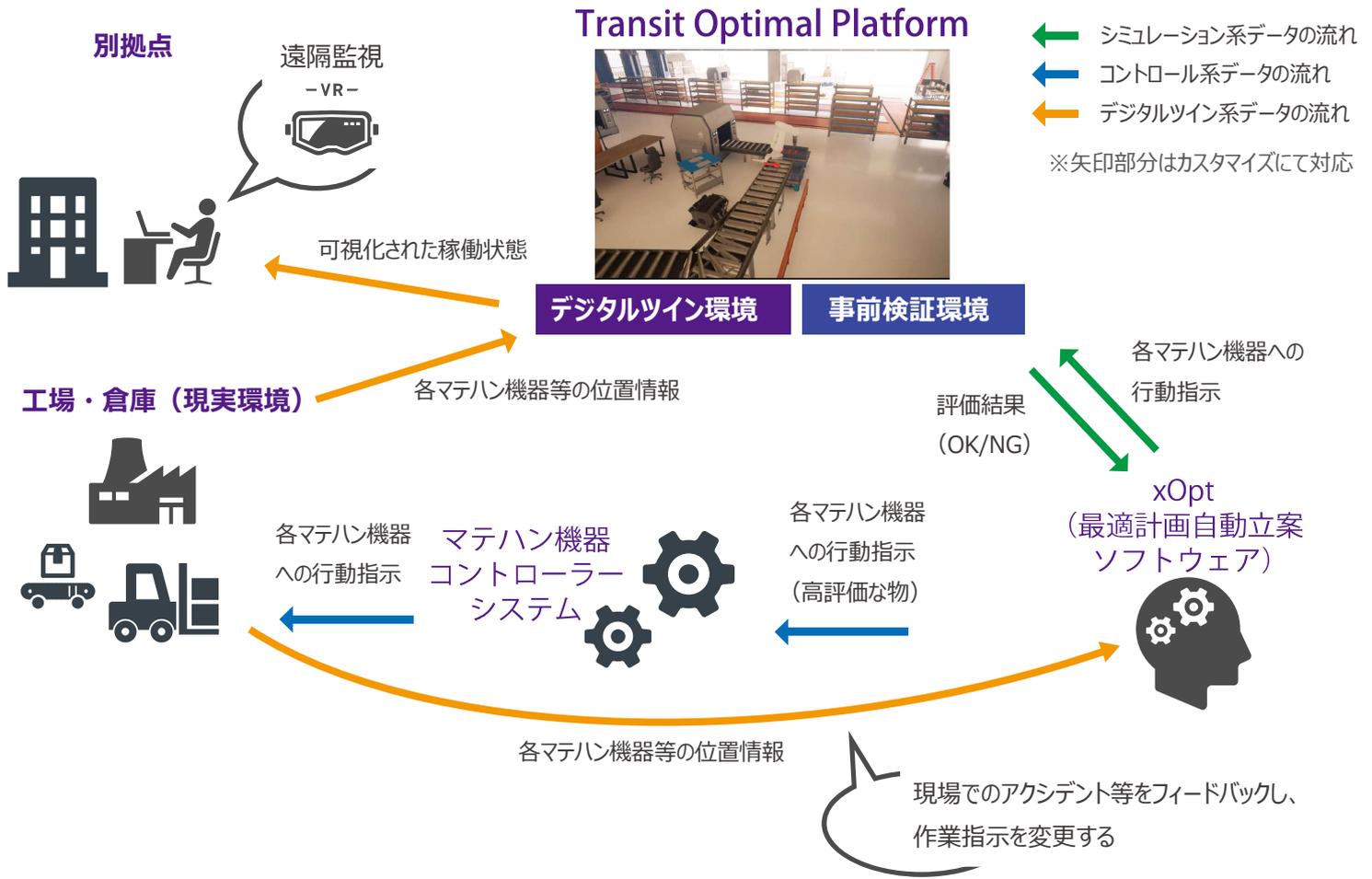
Youtube



iPX Products



ユースケースイメージ図



提供形態

物流に関する課題はお客様によって様々です。

既設工場における AGV の台数検討のみ行いたい。フォークリフトなどの搬送機器も考慮したい。

日々レイアウトが変わる工場内での物流計画を考えたい。

工場の完全無人化を考えたい。

人との協調を前提とした物流最適化を行いたい。…等々

それらのご要望にお応えするため、本製品は 3D 環境表現の機能ライブラリを有したセミプロダクト製品となっています。そのため、ご導入にはカスタマイズが前提となります。



最適化ロジックについては
弊社製品 xOpt もご利用可能です

カスタマイズ範囲

ライセンス範囲

本広告に記載されている商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。本文中では、™、©、® は省略します。

詳細は弊社 HP か下記アドレスよりお問い合わせ下さい。
info@ipx.co.jp